

第13回

とっとり 13th Tottori traditional performance festival 伝統芸能まつり

多里かしらうち

三朝小唄踊り

岩坪神社権現堂
古流三方舞神獅子舞

岩井ゆかむり唄、岩井音頭

伝統芸能
功労団体賞
知事表彰

宇野三ツ星盆踊り

太鼓と万灯の共演

終了後動画配信予定▶

2022 12.4 (日)

入場
無料

会場 倉吉未来中心 大ホール
開場 12:30 開演 13:30

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、状況によって公演イベントを中止・プログラムの変更を行う場合があります。
中止などのお知らせは、「とっとり伝統芸能まつり」ホームページに掲載します。
<http://www.dentou-geinou.net/>



主催／鳥取県 (運営委託先 NPO法人 プロデュース・ハレ)

問合せ先／鳥取県地域づくり推進部文化政策課 TEL:0857-26-7843 FAX:0857-26-8108

第20回鳥取県総合芸術文化祭・とりアート2022参加事業、鳥取県民カレッジ連携講座



タイムテーブル

13:30~13:50

開会・主催者あいさつ

伝統芸能功労団体賞知事表彰 (岩井地区伝統文化子ども教室実行委員会)

13:50~15:53

伝統芸能公演

<13:50~14:35>

- 岩坪神社権現堂古流三方舞神獅子舞 (鳥取市)
- 多里かしらうち (日南町)
- 宇野三ツ星盆踊り (湯梨浜町)

<14:35~14:50> 休憩 (15分)

<14:50~15:53>

- 岩井ゆかむり唄、岩井音頭 (岩美町) ※表彰団体
- 三朝小唄踊り (三朝町)
- 太鼓と万灯の共演 (米子市)

15:53~16:00

グランドフィナーレ



司会 布野まちこ

フリーアナウンサー

結婚式・披露宴・各種イベント・キャラクターショーなどの司会やCM出演など幅広く活動中。

「第3~10回・12回とっとり伝統芸能まつり」及び「中四国文化の集い」等の文化・芸能の司会を務める

伝統芸能紹介 (五十音順)

いわいゆかむりうた、いわいおんど

岩井ゆかむり唄、岩井音頭

いわいちくでんとうぶんかこどもきょうしつじつこういんかい
岩井地区伝統文化子ども教室実行委員会(岩美町)



「岩井ゆかむり唄」は、治の人達が長湯をして湯の効能を高めようと、小さなひしゃくで湯の面をたたき、調子をとりながら唄う。岩井温泉に伝わる珍しい習わしです。岩井地区伝統文化子ども教室では、このような地域伝統文化を後世に伝承するため、日々練習に励んでいます。「やれやれ〜」の軽妙なリズムで始まるゆかむり唄にあわせた踊りや岩井音頭の踊りをご覧ください。

たいこまんどうのきょうえん

太鼓と万灯の共演

よなごがいなだいごぼんかい よなごがいなまんどうしんこうかい
米子がいな太鼓保存会、米子がいな万灯振興会(米子市)



昭和49年結成の米子がいな太鼓保存会と昭和61年結成の米子がいな万灯振興会は、いずれも、米子の夏まつりに欠かせないシンボリック的存在です。演目前半は、米子がいな太鼓の中学生メンバー「颯連(はやてれん)」の曲「颯ver.2」です。若々しくエネルギッシュな演奏をお楽しみください。演目後半は、米子がいな万灯と米子がいな太鼓の共演です。太鼓の迫力、万灯の妙技のコラボレーションをご覧ください。

いわつぼじんじゃごんげんどうこりゅうさんほうまいかみじししまい

岩坪神社権現堂古流三方舞神獅子舞

いわつぼじんじゃごんげんどうこりゅうさんほうまいかみじしほんかい
岩坪神社権現堂古流三方舞神獅子舞保存会(鳥取市)



鳥取市岩坪地区で伝承されている獅子舞は、雄雌二頭が舞う神楽獅子舞です。江戸時代の初め、鳥取藩主・池田光仲が勧請した鳥取東照宮の祭礼において、岩坪神社の獅子舞連中が権現堂古流三方舞の獅子舞を奉仕した事が始まりと伝えられ、現在は、毎年夏と秋の祭りに岩坪神社で奉納されています。雄、雌2頭の神楽獅子が息を合わせて舞い、動きが速いのが特徴です。舞の躍動感をお楽しみください。昭和34(1959)年鳥取県指定無形民俗文化財。

たりにかしらうち

多里かしらうち

たりにかしらうちぼんかい
多里かしらうち保存会(日南町)



「多里かしらうち」の「かしら」とは大きな太鼓のことをいい、それを打つのが「かしらうち」です。多里地区で明治以前から行われており、現在は毎年11月にその年の五穀豊穡を感謝し行われる多里神社の「秋奉納祭り」のなかで、氏神様に奉納するために打ち伝えられています。地域に伝わる伝統的な太鼓の音色や叩き手の華やかな衣装に注目してご覧ください。平成17(2005)年鳥取県指定無形民俗文化財。

うのみつぼしほんど

宇野三ツ星盆踊り

うのみつぼしほんどぼんかい
宇野三ツ星盆踊り保存会(湯梨浜町)



湯梨浜町宇野地区で伝承されている「宇野三ツ星盆踊り」は、仏を供養するために江戸末期から踊り始められ、現在は毎年8月中旬に安楽寺で開催される盆踊り大会で披露されています。踊りの特徴の一つが手の動きで、祖先を拝み、山を眺め、海を眺め、沖から波が打ち寄せる姿を優しく表現するなど宇野地区を連想させる振りを随所に見ることが出来ます。昭和61(1986)年湯梨浜町指定無形民俗文化財。

みささこうたおどり

三朝小唄踊り

いんぱくと
因伯音(三朝町)



三朝小唄は、野口雨情作詞・中山晋平作曲で昭和2(1927)年に発表された新民謡です。当時、全国的に流行し三朝温泉の名を有名にしました。芸能団体「因伯音(いんぱくと)」では、三朝小唄をはじめとする地域の郷土芸能を、訪れる観光客等に披露し地域の魅力を伝えています。本日は三朝温泉でただ一人の芸子小遊(こゆう)さんと、三朝町内の芸能活動グループ「小鹿ふるさと会」さんの共同ステージの踊りをご覧ください。

【ご来場の方へのお知らせ】

- ・開催にあたっては、県版感染拡大予防ガイドラインに沿った対応を行います。
- ・感染状況によっては、当日の入場制限を行う場合がありますので、ご了解ください。

新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、入館時に次のことをお願いします



発熱やせき、のどの痛みなどの症状がある方はご来場をお控えください。



マスクを着用してください。



手指消毒をしてください。



検温・氏名と連絡先の記入にご協力ください。